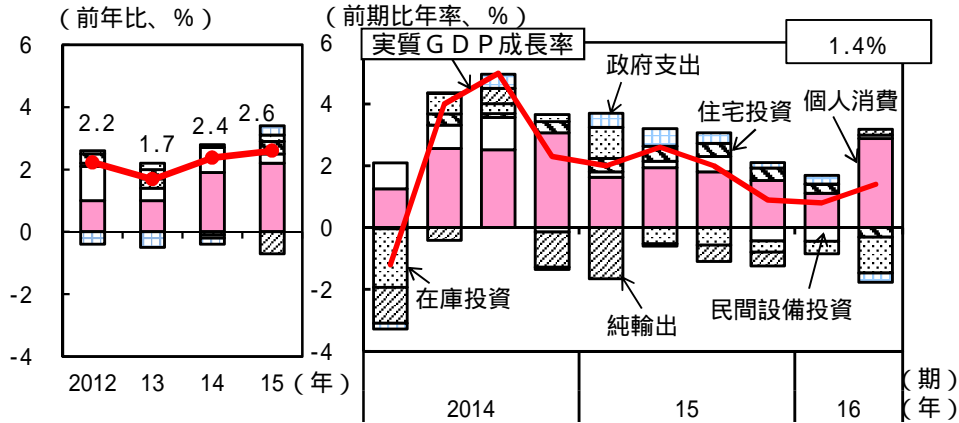


1. アメリカ

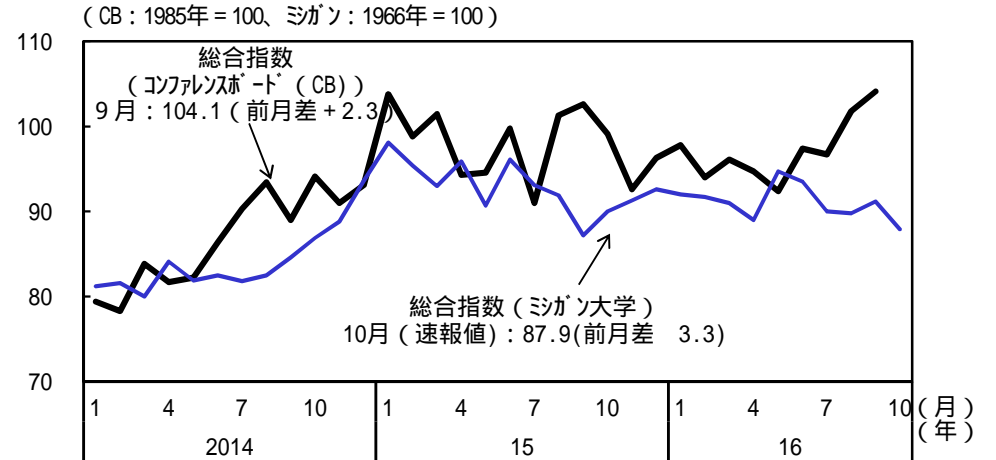
アメリカでは、企業部門の一部に弱めの動きもみられるが、景気は回復が続いている。

実質GDP成長率（3次推計値）
2016年4 - 6月期は前期比年率1.4%成長

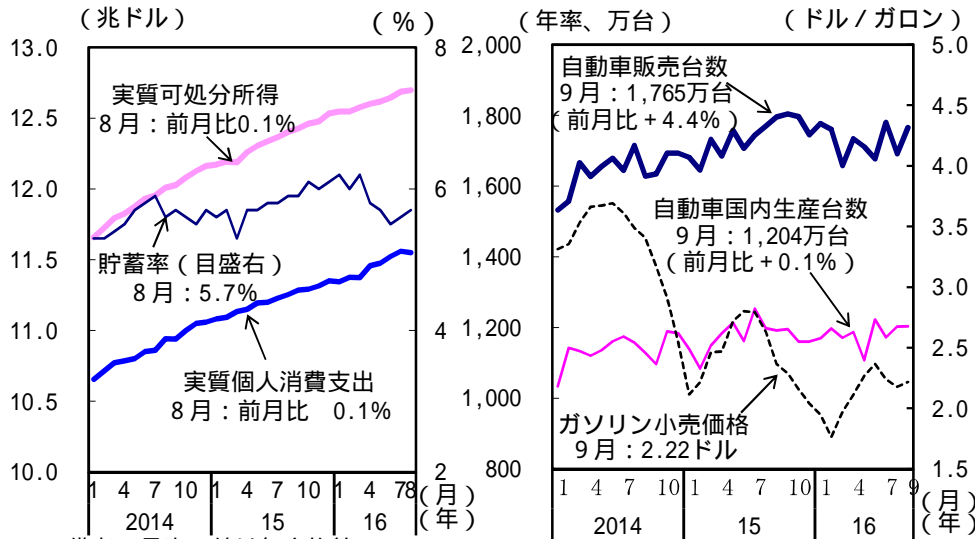


(備考) 2016年4 - 6月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：2.9、民間設備投資：0.1、住宅投資：0.3、在庫投資：1.2、政府支出：0.3、純輸出：0.2。

消費者信頼感指数

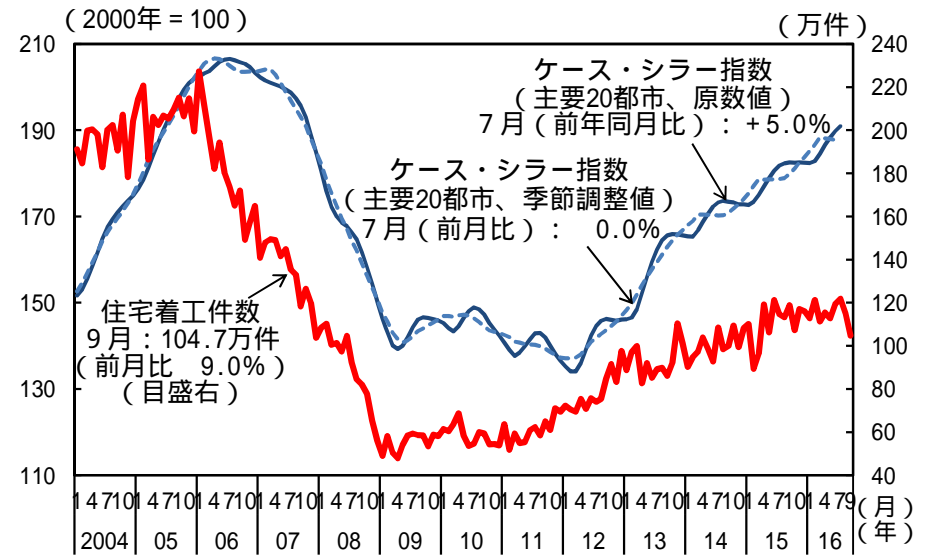


消費は増加、自動車販売台数は高水準でおおむね横ばい

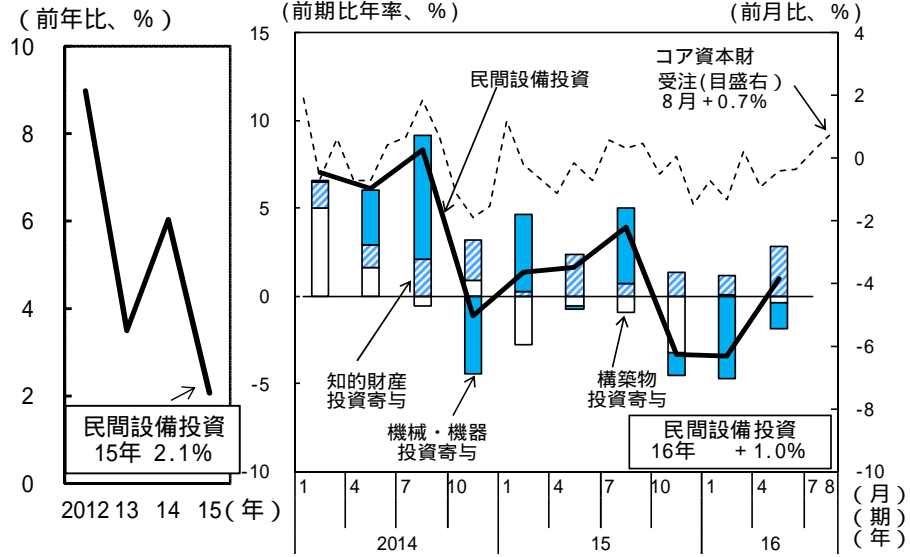


(備考) 月次の値は年率換算。

住宅着工はおおむね横ばい、住宅価格は緩やかに上昇

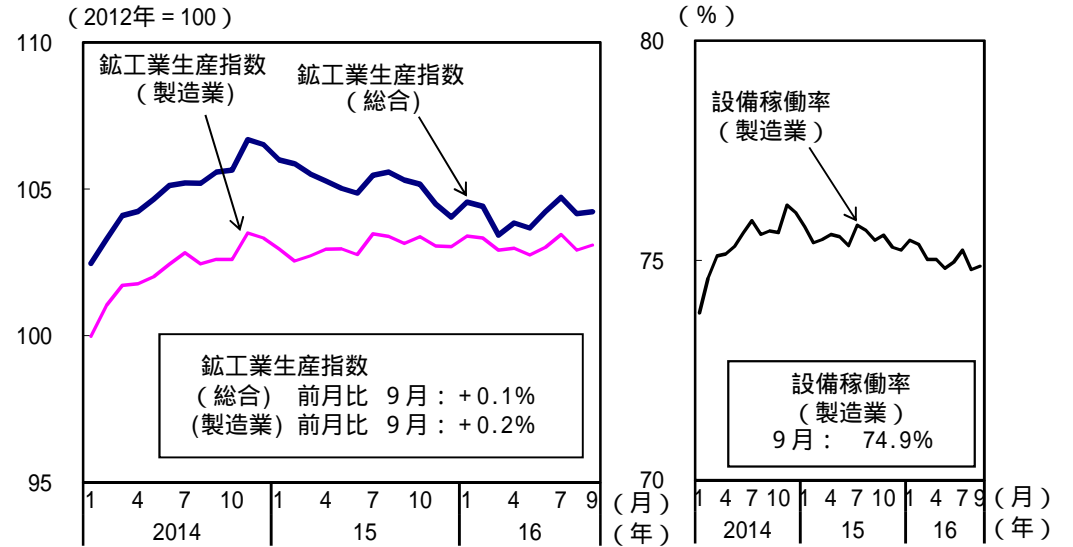


設備投資は弱い動きとなっている

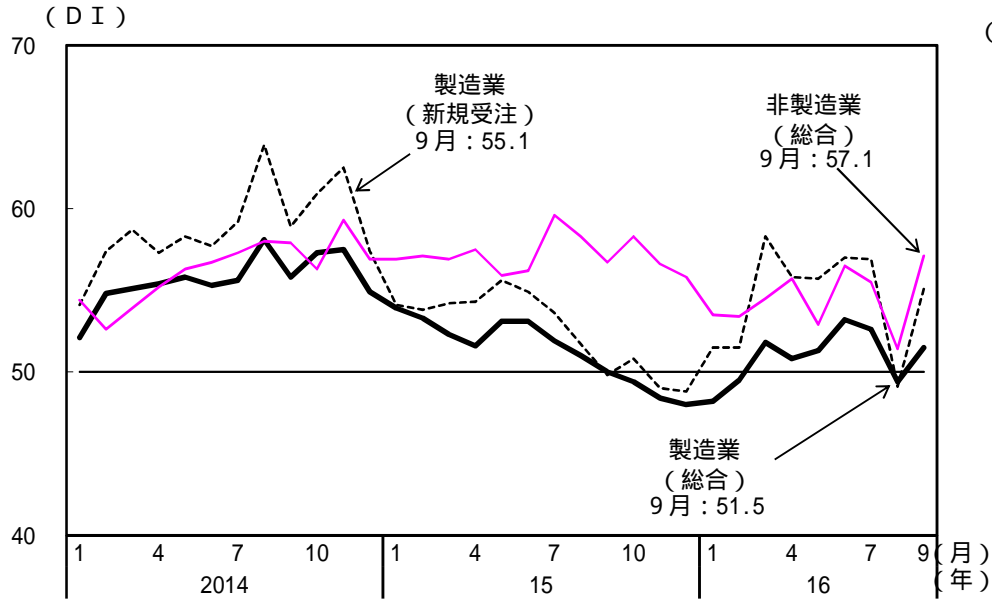


(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。

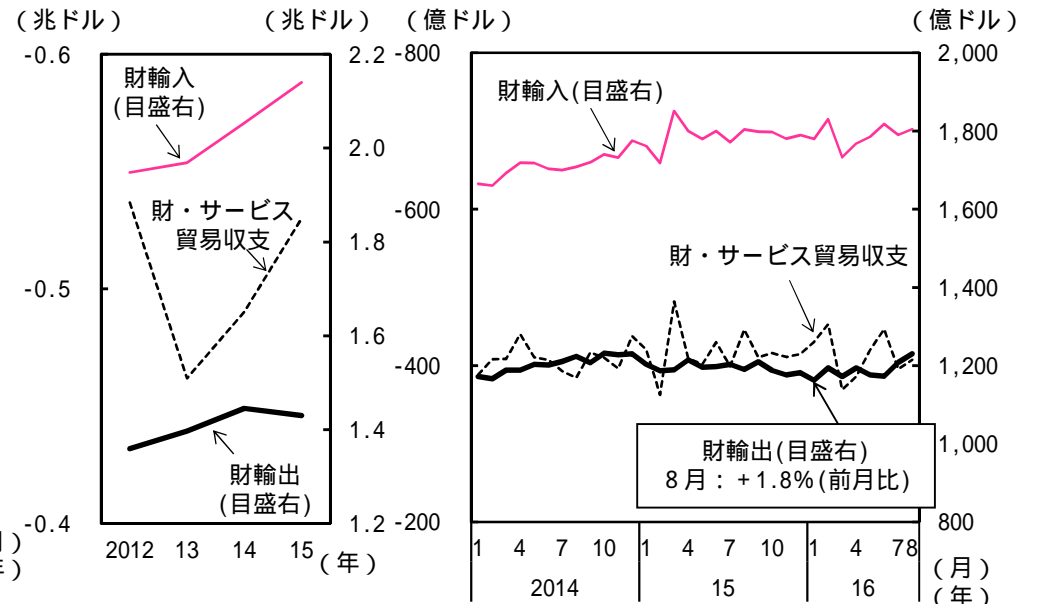
生産は持ち直しの動きがみられる



製造業の景況指数はこのところ持ち直し

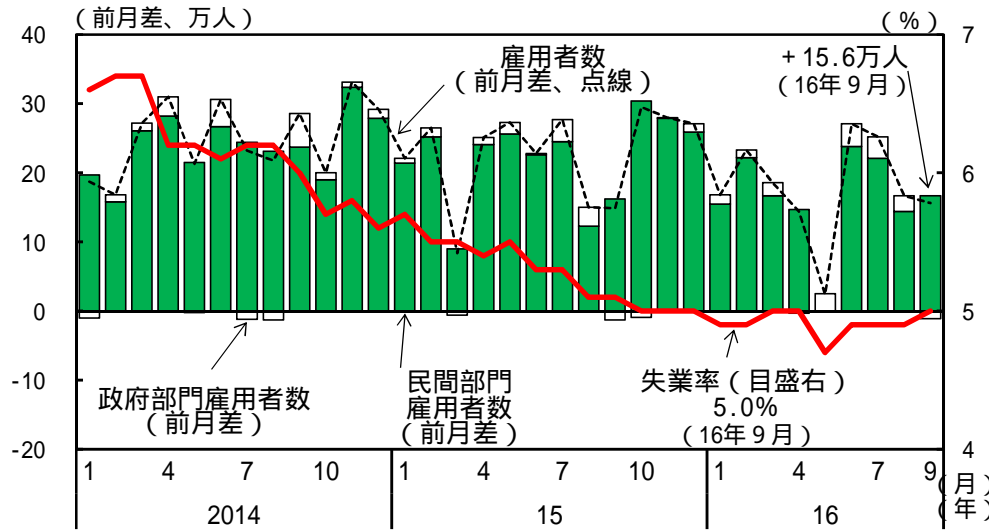


財輸出はおおむね横ばい



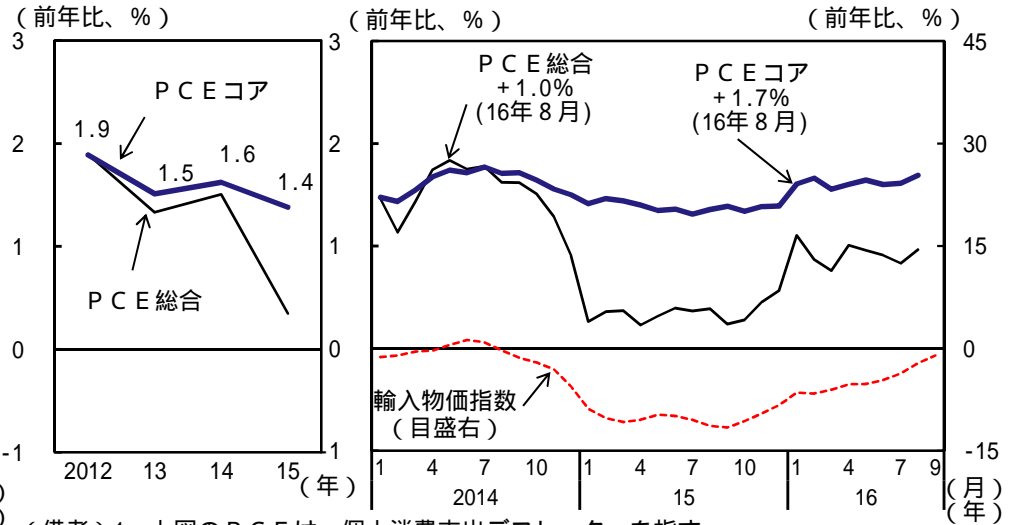
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

雇用者数は増加しており、失業率は低水準でおおむね横ばい



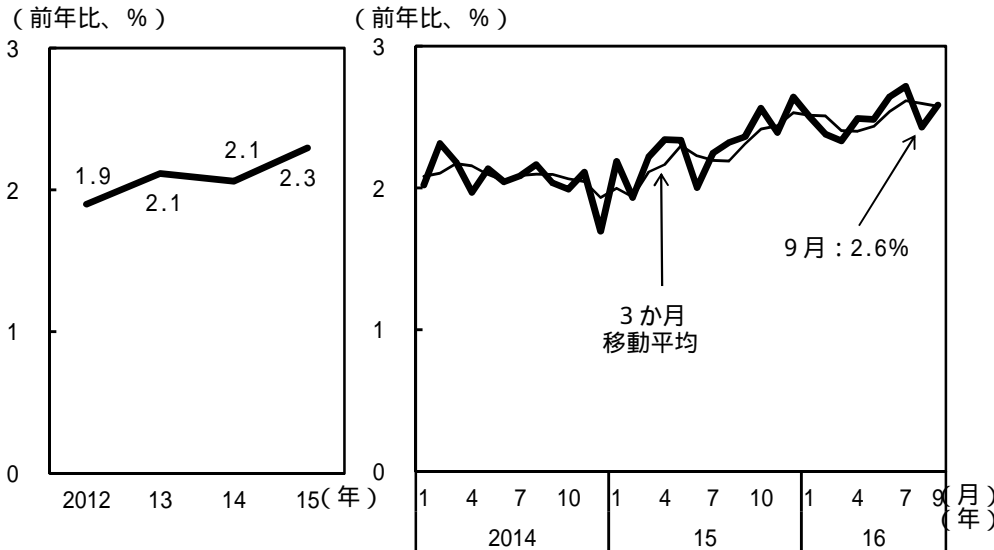
(備考) 雇用者数は非農業部門。

コア物価上昇率はおおむね横ばい



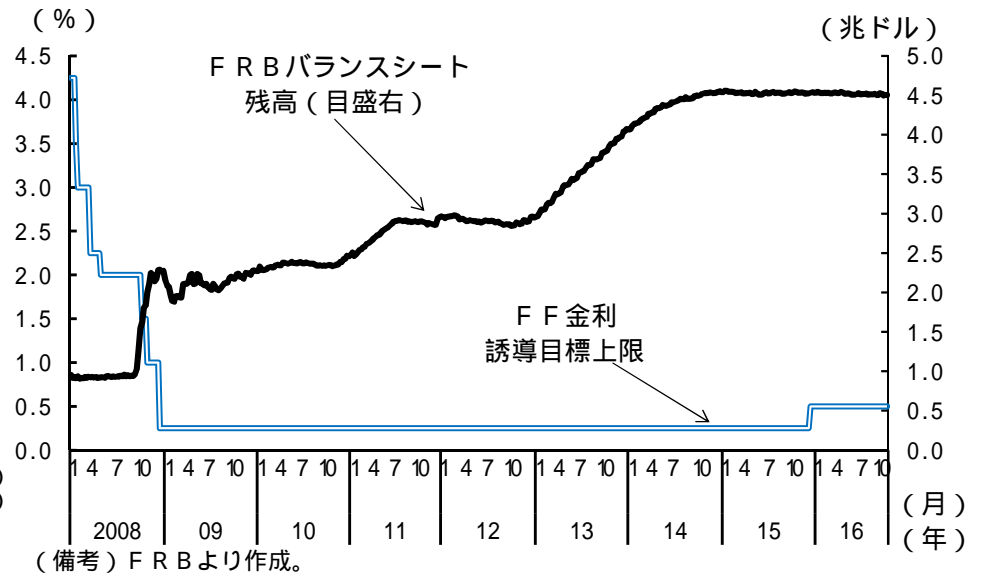
(備考) 1. 上図のPCEは、個人消費支出デフレーターを指す。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

賃金の伸びはやや高まっている



(備考) 賃金の伸びは全雇用の時間当たり賃金の前年比。

金融政策



(備考) F R B より作成。